

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等に関する評価表

(評価対象年度:令和6年度)

<施設概要>

施設	武者小路実篤記念館
施設の設置目的	武者小路実篤の業績を顕彰し、広く市民の教養及び文化の向上に寄与する
指定期間	平成31年(2019年)4月1日～令和11年(2029年)3月31日
指定管理者	一般財団法人調布市武者小路実篤記念館
所管部署	教育部 郷土博物館

<施設所管部署における全体総括>

令和6年度は、ほぼ通年開館し、入館者数が増となった。展示事業は、2回の特別展と6回の企画展に加え、調布市文化会館たづくりでの移動展を開催し、施設内外で実篤の活動や実篤記念館の所蔵作品・資料に接する機会を提供した。また、普及事業では初夏の自然観察会、文学講座、親子工作講座といった恒例の講座を始め、たづくり移動展関連事業として実施した映画の上映会などで、定員を大幅に上回る応募が寄せられ、実篤記念館への高い関心がうかがえた。学校との連携においては、初めての取組として、不登校児童・生徒の訪問型支援「みらい」を利用する生徒の訪問を受け入れた。学校・地域との連携を継続することにより、実篤記念館の認知度を高め、新しい利用者の獲得に向けた取組を進めていると評価できる。事業参加者数は、積算方法を見直したことにより減少したが、全体としては移動展の開催や通年をとおしたボランティアガイドの実施により増加した。

施設の維持管理については、開館から39年が経過し、施設・設備の経年劣化が進む中、市の実施する修繕への協力のほか、適宜、適切な修繕を行っている。施設が安全で良好な状態を保つことができるよう日常管理に努めており、適切な管理運営が行われていると評価できる。

様々な創意工夫や利用者の利便性の向上に取り組み、学校連携や文化・芸術の場として魅力ある事業の提供に努めたと評価できる。今後も安定した財団運営や事業の実施とともに新たな利用者を獲得し、リピーターを増やすことのできる魅力的な事業展開を期待する。

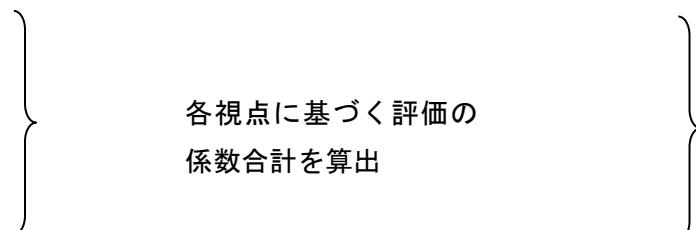
総合評価

A

総合評価基準

以下、施設の管理運営等に関する各視点に基づく評価に対応した係数の合計で総合評価を決定する。

<係数>	
s→10	
a→8	
b→6	
c→4	
d→2	



<総合評価基準>

S(特に優れている)

→42～44(かつ各視点でc評価が無い)

A(優れている)

→36～41(かつ各視点でd評価が無い)

B(良好)

→26～35

C(要改善)

→16～27

D(要抜本的見直し)

→10～15

＜施設の過去3箇年の主な管理実績＞

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
記念館利用者数	6451人	6776人	8434人
事業参加者数	23078人	16958人	14396人
指定管理料(市決算額)	2648万655円	3743万436円	3245万4909円
利用料金収入	140万2550円	106万8200円	118万6650円

＜施設の管理運営等に関する評価(各評価区分の考え方は下段の「評価の目安」を参照)＞

業務の実施体制	確認項目	確認欄
	業務マニュアルの整備(職員への周知含む)	<input type="checkbox"/> 有(更新) <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	緊急時におけるマニュアル・連絡体制の整備(職員への周知含む)	<input checked="" type="checkbox"/> 有(更新) <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	職員の育成(研修・緊急時対応等の訓練)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施
	<評価におけるその他の視点>	
	・個人情報の保護及び情報漏洩防止のための措置 ・職員の勤務条件・待遇における関係法令の遵守 ・協定書等を遵守した業務の再委託	・適切な人員配置 ・適時適切な市との情報共有 など
施設所管部署の総括(上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)		評価(b～d)
月1回の対面会議に加え、適宜連絡を取り、市との情報共有を行っている。人材育成では、事業担当、総務担当とも各専門分野への研修に参加し、業務の質の向上を図るとともに、喫緊の課題であるベテラン職員から若手職員への知識や技術の継承を引き続き進めた。令和4年度に導入した人事評価制度を活用し、組織の活性化につなげたほか、労務管理については、社会保険労務士の助言を得て規則等の整備を実施し、財政援助団体監査結果に基づく指摘事項についても是正を行った。		b

評価の目安(b～d)

b:マニュアル整備や研修等が適切に実施されており、その他、協定内容や関係法令等が遵守されている。

c:マニュアル整備や研修等の実施、協定内容や関係法令等の遵守について一部改善を要する点がある。

d:業務の実施体制について、抜本的に改善が必要なものがある。

施設の維持管理	確認項目	確認欄
	施設・設備についての保守点検の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施
	施設・設備に不具合等があった場合の修繕等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 不具合等有(10件(うち対応10件)) <input type="checkbox"/> 無
	作品・資料の展示・保存環境の維持	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施
	備品の適切な管理(台帳との照合)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施
	<評価におけるその他の視点> ・利用者の安全確保対策 ・適切な衛生管理(清掃対応、感染症対策など) ・指定管理者として必要な保険への加入	など
	施設所管部署の総括（上段の確認項目や評価の視点を含めた総括）	評価(a～d)
	経年劣化による施設・設備の不具合が増加傾向にあるが、適宜、必要な修繕を実施し、市が実施した空調改修工事（空調機交換）に協力したほか、消火栓ポンプ呼水槽交換、展示室児童扉のタッチスイッチ（送信機）設置、防水補修等の改修を行い、利用者の安全性、快適性の維持を行っている。また、自主事業費により施設管理アドバイザーを委託し、施設の不具合状況の確認、対処方法や修繕の助言を得て、財団が実施する施設管理について問題解決に努めた。 そのほか隔年で実施している館内環境調査を行い、作品・資料の良好な状態を確保し、保全に努めている。また、資料管理として作品の貸出等への対応や貴重な作品保全のための動産保険への加入手続きを行っている。	b

評価の目安(a～d)

- a: 施設・設備の点検や修繕等への適切な対応に加え、先進的な対策の導入など、優れた安全対策や維持保全などが行われている。
- b: 施設・設備の点検や修繕や備品管理、安全対策などをはじめ、施設の維持・管理が適切に実施されている。
- c: 施設・設備の点検や修繕等の施設の維持・管理について一部改善を要する点がある。
- d: 施設の維持・管理について、抜本的に改善が必要なものがある。

サービスの提供	確認項目	確認欄
	計画した事業(サービス)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 一部未実施 <input type="checkbox"/> 多くが未実施
	利用者数の状況(前年度比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 前年比5%超増 <input type="checkbox"/> 同水準(±5%) <input type="checkbox"/> 前年比5%超減
	新たなサービス(事業)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 有(2件) <input type="checkbox"/> 無 主な実施内容:ワークショップ「言葉アート」,「実篤名ゼリフBOOKを作ろう」
	サービスの見直し(利用方法・事業回数・時間帯等)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 有(2件) <input type="checkbox"/> 無 主な実施内容:ボランティアガイドの回数増, カード決済の導入
	所蔵品の監理, 整理・保存と活用	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施
	職員の接遇態度(言葉遣い, 態度, 服装, 問合せへの対応等)	<input checked="" type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 要改善
	＜評価におけるその他の視点＞ ・利用者にとって分かりやすい施設利用案内や事業等に関する情報提供 ・施設の設置目的に沿ったサービスの提供及び事業の実施 ・協定書等に基づく施設の開館日, 開館時間の遵守 ・利用申請等に対する迅速な対応 ・利用者に対する附帯設備・備品等の適切な提供 ・苦情や要望等に対する適切・迅速な対応及び市への報告 ・施設の利便性向上・利用促進に関する取組・利用者満足度アンケート調査等の結果	など
施設所管部署の総括（上段の確認項目や評価の視点を含めた総括）		評価(s~d)
<p>講座事業においては、新しくワークショップとして、言葉をもとにアート表現する「言葉アート」や、移動展会場で「実篤名ゼリフBOOKを作ろう」を実施したほか、ボランティアの登録者数が増えたことで、ボランティアガイドの回数を増やして充実することができ利用者増となった。</p> <p>学校教育との連携においては、不登校児童・生徒の訪問型支援「みらい」の訪問や第8中学校園芸部の活動を受け入れたほか、アメリカンスクールや世田谷区立中学校からの見学実習にも利用が広がった。例年の夏休み期間に実施する児童・生徒向け「夏休み自由研究サポート」ではコロナ以降実施を中止していた「シュロの葉バッタ作り」を復活した。また、近隣学童クラブとの連携について年3回のプログラムを定着させ、児童から好評を得て、継続して実施をしていくこととした。これから利用者となり得る子どもたちへの積極的なアプローチを行ったことを評価する。</p> <p>資料の状態維持・改善のために作品の修復等を行ったほか、オリジナルの資料の保存と展示公開の両立を図るため、資料の複製を製作するなど資料の整理保存に努めた。</p> <p>展覧会や事業に合わせた図書の紹介など、資料利用のサービス充実に努め、特別閲覧では高度な質問や調査への対応も行うなど、利用者のニーズに合わせた丁寧な対応を評価する。</p> <p>利用者アンケートの満足度は高い水準であり(平均で71.4%),特に受付・レファレンスの接客については「良い」の評価が77.0%と、昨年度と比較して4.2ポイント上昇した。</p>		a

評価の目安(s~d)

s:サービスの提供(施設利用, 事業実施など)について、特に優れた実績がある。

a:サービスの提供(施設利用, 事業実施など)が適切に実施され、かつ、前年度実績を上回る実績が複数あるなど、優れた実績がある。

b:サービスの提供について協定書等の内容に基づき、概ね適切に実施できている。

c:サービスの提供について協定書等の内容に基づく対応が実施されていないものが散見され、一部改善を要する点がある。

d:サービスの提供について、抜本的に改善が必要なものがある。

財務の状況	確認項目		確認欄
	収支計画を踏まえた実績	利用料金収入	<input checked="" type="checkbox"/> 計画比+5%超増 <input type="checkbox"/> 同水準(±5%) <input type="checkbox"/> 計画比-5%超減
		支出総額	<input type="checkbox"/> 計画比+5%超 <input checked="" type="checkbox"/> 同水準(±5%) <input type="checkbox"/> 計画比-5%超
	収入(指定管理料を除く)の状況(前年度比較)		<input type="checkbox"/> 前年比5%超増 <input checked="" type="checkbox"/> 同水準(±5%) <input type="checkbox"/> 前年比5%超減)
	収入確保や経費縮減の取組		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 主な取組内容:グッズ価格改定により収入増、映像制作の制作期間を2か年に変更し経費縮減
	<評価におけるその他の視点>	・指定管理料の適切な管理(帳簿等の整備) ・利用料金等に関する適切な収納及び還付事務の実施	など
	施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)		評価(s~d)
	映像制作期間を1年から2年とし、1年の経常経費の縮減に努め、支出総額では、計画比で3.9%の減と経費縮減となったことは評価できる。利用料金収入については、実篤記念館の利用者数の増により、計画比で18.7%増、前年度比で11.1%増となっている。自主事業としては、令和5年10月から通年で開始した、一部のミュージアムグッズのオンライン販売が順調に推移しており、また、仕入れ価格や経費増にともない商品価格の改定を実施して自主財源の収益確保に努めるとともに、令和6年4月から窓口での支払いにキャッシュレス決済を導入し、利用者の利便向上と窓口会計業務の効率化を図った。令和6年度は、総資本に対する本業の利益率を示す「総資産当期経常増減率」が6.9%であった。	a	

評価の目安(s~d)

- s: 収支計画等に基づく適切な運営等の実施に加え、収入増加や経費縮減に関して、特に優れた対応・実績が見られる。
- a: 収支計画等に基づく適切な運営等の実施に加え、収入増加や経費縮減に関して、優れた対応・実績が見られる。
- b: 収支計画等に基づく適切な運営が概ね実施できている。
- c: 収支計画等に基づく適切な運営や、その他財務に関連する取組に一部改善を要するものがある。
- d: 収支計画等に基づく適切な運営や、その他財務に関連する取組に関して抜本的に改善が必要なものがある。

その他	確認項目	確認欄
	地域等との連携による取組の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施 主な実施内容:桐朋学園大学「観梅のつどい」コンサート, 訪問型支援「みらい」や第八中学校園芸部の受け入れ
	地域貢献活動の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施 主な実施内容:むさしの・ガーデン紀行森の地図スタンプラリー, 東京都文化財ウィーク, 市ふるさと納税, 若葉小地区協議会
	<その他評価の視点> ・省エネルギー, 省資源等の取組による環境への配慮 ・市民雇用の取組 ・地域経済の発展に資する取組	など
	施設所管部署の総括（上段の確認項目や評価の視点を含めた総括）	
近隣地区と連携した回遊型事業は、デジタルと併用した武蔵野コツツウォルズの「むさしの・ガーデン紀行森の地図スタンプラリー」や東京都文化財ウィークのデジタルスタンプラリースポットに参加し、地域の様々な施設や店舗をつなぐ地域連携ができたことにより、実篤記念館の認知度を高め、新たな利用者を獲得できたことを評価する。 令和6年度は、初めての取組として、市教育委員会からの依頼により、不登校児童・生徒の訪問型支援「みらい」の生徒の訪問や第八中学校園芸部の活動を受け入れたほか、近隣学童クラブとの連携を継続して実施した。地域の子どもたちにアプローチを行い、継続的な連携事業に繋げていることを評価する。 また、若葉学校地区協議会の一員として防災訓練に参加するなど、地域貢献を図った。	評価(s~d)	
		a

評価の目安(s~d)

s: 4つの視点に関する取組以外に、地域等との連携による事業や地域貢献活動への積極的な参加などにおいて、特に優れた対応が見られる。

a: 4つの視点に関する取組以外に、地域等との連携による事業や地域貢献活動への積極的な参加などにおいて、優れた対応が見られる。

b: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への参加などの取組が行われている。

c: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への参加などの取組に関して一部改善を要するものがある。

d: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への取組について、抜本的に改善が必要なものがある。

<指定管理者における全体総括>

令和6年度は、コロナ禍や改修工事による臨時休館がなく、5年ぶりに通年開館となり、市民が広く誇り得る文化の拠点として、実績と信頼を生かしながら、より良質で魅力のある事業を展開しました。展示・普及事業では、春・秋2回の特別展と収蔵品による6回の企画展を実施しました。春の特別展「仙川の家」では、新たな調査・研究成果を加えて紹介し、秋の特別展「式場隆三郎と武者小路実篤」では、ゴッホや山下清の紹介者として知られ、近年、注目度が高い式場と実篤の接点を特集しました。また、秋季展では、当館が収蔵する武者小路実篤自筆原稿が国文学研究資料館の国書データベースに公開されたことを踏まえ、成果を活用して展示と連動させ、好評を得るなど、幅広いジャンルの事業展開により入場者増につながりました。このほかに、調布市文化会館たづくりでの移動展「銀幕が映す実篤文学」や関連の映画上映会を「映画のまち調布 シネマフェスティバル2025」と連携して開催し、広く実篤記念館事業を周知することできました。

学校・地域との連携事業では、初めての取組として、不登校生徒の訪問型支援「みらい」の訪問や調布市第八中学校園芸部を受け入れたことをはじめ、学校や学童クラブとの連携が増えており、若手教員育成研修等の機会をとらえ、実篤記念館が学校・地域連携に力を入れていることを発信し続けたことが実を結びつつあります。

情報提供システム事業では、システム稼働から19年が経過した、収蔵品データベースのリニューアル作業の1年目として、システム設計とデータ整備を実施し、デジタルアーカイブ機能の充実を進めました。

施設管理運営事業では、清潔で快適な施設の維持・保全や利用者の安全を確保するため、施設の維持管理に努め、施設・設備の経年劣化に対して必要な修繕を実施しました。また、館内消火栓ポンプ呼水槽を交換したほか、調布市が実施した空調改修工事に取り組みました。

自主事業では物販事業において、自主財源の確保と活用に努め、好評の実篤チョコ限定版は4,800個を製作し、調布市のふるさと納税返礼品としても提供し、令和6年4月から12月までの調布市人気返礼品ベスト5にランクインしました。また、利用者の利便性向上と窓口会計業務の効率化のため、令和6年度から窓口での支払いにキャッシュレス決済を導入しました。